

10. 歯科補綴処置への対応



10. 歯科補綴処置への対応

<到達目標>

- ・ 歯科医師の指示に従うことができる
- ・ ステップ毎に報告できる
- ・ 必要器材を的確に準備できる
- ・ 患者の誤嚥に注意して操作できる
- ・ 修復物の適合状態、咬合状態、隣接面の接触状態が正しく診査できる
- ・ 診査のうえで修復物を調整できる
- ・ 修復物内面をサンドブラストできる
- ・ 支台歯を防湿しながら合着できる
- ・ セメントに合わせた支台歯の前処理が行える
- ・ セメントの錬和時間をまもって錬和できる
- ・ 合着に十分な量のセメントを錬和し、使用できる
- ・ 余剰セメントを完全に除去できる
- ・ 合着後の患者のフォローができる

<設定場面>

30代女性患者が来院。本日、左下6のFCK装着を行う。

<治療手順>

1. 患者の誘導と説明

歯科医師：患者の誘導を助手または衛生士に指示する。

助手：患者をチェアに誘導し、本日の処置で修復物をセットすることを説明する。

2. テンポラリークラウンの除去と支台歯の清掃 必要器材：リムーバー(クラウン用またはブリッジ用)、基本セット(デンタルミラー、ピンセット、探針)

衛生士：テンポラリークラウンをリムーバーなどで撤去し、歯面を清掃する。

3. 修復物の試適と咬合調整 必要器材：完成した修復物、咬合紙、咬合紙ホルダー、コンタクトゲージ、デンタルフロス、咬合調整用バーセット

衛生士：修復物を支台歯に試適する。

衛生士：修復物の歯肉とのマージン適合状態の確認、接触点診査、咬合状態の確認を行う。

必要であれば切削具で微調整を行う。

4. 修復物の清掃 必要器材：アルコール、ワッテ

助手：合着する修復物の内面をアルコール綿球で清掃乾燥する。

5. セメントの練和と合着 必要器材：合着用セメント(ガラスアイオノマーセメントまたは接着性レジンセメント)、練和紙、プラスチックスパチュラ、ストップウォッチ、インレーセッター、光照射器、サンドブラスト、ロールワッテ

※ガラスアイオノマーセメントの場合

助手：調整の終わった修復物を手元に置き、紙練板上にセメントの粉末と液を取り出す。

衛生士：アシスタントがセメントの準備をしている間に、処置歯の簡易防湿をロールワッテで行い、スリーウェイシリンジで軽く乾燥する。

助手：術者の乾燥状況を見て、タイミングを図りセメントを練和する。タイマーをセットする。

助手：外側性の修復物は内面に気泡が入らないようにセメントを一層塗る。内側性の窩洞の場合は、練和の終了したセメントをスパチュラの先端にとり、患者の下顎角付近に差し出す。

衛生士：セメントを塗った修復物を支台歯に圧接し、余剰のセメントを綿球で拭き取る。

衛生士：修復物の咬合面にクラウンセッターを置き、患者に咬合を指示し、ついで咬合紙を介在させ咬合状態の確認を行う。マージンの確認を行い、インレーセッターの咬合を指示する。

衛生士：タイマーを作動させ硬化時間を確認しておく。

※接着性レジンセメントの場合

衛生士：試適と調整の終わった修復物内面にサンドブラスト処理を行い、水洗乾燥をする。

助手：表面処理液を用意し、スポンジ片に付けて歯面に塗布できるように差し出す。表面処理の最中にプライマーを調整しておく。

衛生士：支台歯に 30 秒間表面処理を行い、水洗後プライマーを歯面に塗布する。

助手：レジンセメントを適量取り、混和しておく。

衛生士：修復物内面に混和したセメントを塗り、支台歯に圧接する。

衛生士：あふれ出た余剰のセメントを拭き取る。

助手：拭った筆先をガーゼでしごく。

衛生士：クラウンセッターを咬むように指示し、改めて余剰セメントを綿球で拭き、酸素遮断材をセメントライン上に塗布し、さらにバイトウッドを咬んでもらい硬化を待つ。

衛生士：硬化時間をタイマーで確認し、スリーウェイシリンジでスプレー洗浄し、酸素遮断材を除去する。

助手：バキューム操作をする。

6. セメントの除去

衛生士：防湿用のロールワッテ、バイトウッドを取り除き、いったん患者に洗口を指示する。

衛生士：硬化の始まったセメントはスクレーパー・探針などを使用して除去する。

衛生士：隣接面はデンタルフロスを通し、ブリッジのダミーの下はフロススレッダーなどを使ってフロスを通し、余剰セメントを取り除く。

歯科医師：エックス線写真撮影を行い、セメントの取り残しやマージンの適合状態などを確認する。確認できたら、本日の診療終了を指示する。

7. 後処理 必要器材：手鏡

衛生士：洗口を指示した後、患者に手鏡を渡し、修復物を確認してもらう。
また、咬合診査で付着した咬合紙のマークはロールワッテを使用して拭っておく。

衛生士：修復物が口腔内に装着されたことによる変化を説明し、歯口清掃法について改めて説明する。

8. 片付け

助手：診療後の後片付けをする。

10. 歯科補綴処置への対応

必要器材

- ① リムーバー(クラウン用またはブリッジ用) ② 基本セット(デンタルミラー、ピンセット、探針) ③ 完成した修復物 ④ 咬合紙 ⑤ 咬合紙ホルダー ⑥ コンタクトゲージ ⑦ デンタルフロス ⑧ 咬合調整用バーセット ⑨ アルコール
⑩ ワッテ ⑪ 合着用セメント(ガラスイオノマーセメントまたは接着性レジンセメント) ⑫ 練和紙 ⑬ プラスチックスパチュラ ⑭ ストップウォッチ ⑮ インレーセッター ⑯ 光照射器 ⑰ サンドブラスト ⑱ ロールワッテ ⑲ 手鏡

10. 歯科補綴処置への対応





